令和３年度強い農業・担い手づくり総合支援交付金　申請用紙（１／３）

コード　　　　　　　　　　　　氏名　　　　　　　　　　　　電話

１　希望事業（希望するタイプに○を書いてください。）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 先進的農業経営確立支援タイプ | 上限　個人1,000万、法人1,500万 |
|  | 地域担い手育成支援タイプ | 上限　300万円 |

　※補助率はいずれも30％（3/10）です。

　※希望するタイプによりポイントの算定方法が異なりますのでご注意ください。

２　導入機械の取得時期等

　導入する機械とその使用、取得時期、金額（概算）を記入してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 導入機械の仕様 | 取得時期 | 税抜概算金額（千円） |
|  | ※令和４年３月中に取得できるものに限ります。 |  |

※導入機械は仕様と作業能力を必ず記入して下さい。また、既存の機械を所有している場合は併せて記入願います。

３　目標設定

（１）必須目標

　必須目標は令和２年度の税申告から計算して記入してください。また、今後の営農計画等から判断し、３年間で何％増加できるかを記入してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 必須目標 | 現状  R２実績 | 目標年度  R５ | ポイント | 備考 |
| 付加価値額の拡大 | 万円 | 万円 | 点 | 付加価値とは、青色申告等において「収入総額－費用総額＋人件費」と計算して得られる数字をいいます。 |

令和３年度強い農業・担い手づくり総合支援交付金　申請用紙（２／３）

コード　　　　　　　　　　　　氏名　　　　　　　　　　　　電話

（２）選択目標

　　下表①～⑥から目標を選択し、例を参考に１つ以上記入してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 選択目標 | 現状  R２実績 | 目標年度  R５ | 選択した理由 |
| 例：①経営面積の拡大 | 100ha | 115ha | 例：需要の見込まれる新品種の馬鈴しょを増産するために経営面積の拡大を行うにあたって、作業体系を確立させるために当該機械を導入する。 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

○選択目標表

|  |  |
| --- | --- |
| 成果目標 | 内容 |
| ①経営面積の拡大 | 利用権の設定等又は農業の受託により経営面積を拡大する。 |
| ②農産物の価値向上 | 新品種の導入、栽培管理技術の改善等による農産物の品質の向上、加工や契約栽培等の新たな販売方式の導入等により農産物の価値向上に取り組む。  又は、輸出（他の事業者との連携を含む）、異分野の事業者との連携等により農産物の新たな市場の開拓等に取り組む。  例：現状→契約栽培０社　目標→契約栽培２社に増加させる。 |
| ③単位面積当たり収量の増加 | 新品種の導入、栽培管理技術の改善等による単位面積当たりの収量の増加に取り組む。  例：新品種を導入して、現状→春小麦６俵　目標→春小麦８俵とする。 |
| ④経営コストの縮減 | 栽培管理技術の改善、作業の効率化、生産資材の効率利用等により経営コスト（農産物の生産・流通その他経営に係るコストを含む。）の縮減に取り組む。  例：現状→○○円　目標→○○円 |
| ⑤農業経営の複合化 | 土地利用型作物の生産、園芸作物の生産、畜産経営などを組み合わせた複合的な農業経営の展開等に取り組む。又は、収益性の高い品目の導入・拡大に取り組む。  例：現状→畑作専業　目標→畑作・野菜複合 |
| ⑥農業経営の法人化 | 目標年度までに法人化する。  例：現状→家族経営　目標→法人化 |

令和３年度強い農業・担い手づくり総合支援交付金　申請用紙（３／３）

ポイント算定評

コード　　　　　　　　　　　　氏名　　　　　　　　　　　　電話

　ポイント算定のため、以下の設問に回答してください。なお、「①経営面積の拡大」は、別紙を基にポイントを計算して記入してください。また、設問のうち⑦、⑧は先進的農業経営確立支援タイプのみの配分基準なので、地域担い手育成支援タイプを希望する場合は、⑦、⑧に回答する必要はありません。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | 設問 | | | 回答 | ポイント |
| 共　　　通 | ①経営面積の拡大 | 平成30年度から令和２年度の間に経営面積が増加している。 | | | はい／いいえ | 点 |
|  | 農地中間管理機構から賃貸借権等の設定を受けている。 | | はい／いいえ |
| 令和５年度までに、経営面積を増加する予定がある場合、何haかを右に記入してください。 | | ha |
| ②経営管理の高度化 | 現在、法人化しているか、目標年度までに法人化する。 | | | はい／いいえ | ２点 |
|  | ＧＬＯＢＡＬＧ．Ａ．Ｐ又はＡＳＩＡＧＡＰの認証を取得している。 | | はい／いいえ | １点 |
| ③新規就農 | 事業実施年度に就農、又は就農後５年度以内である。 | | | はい／いいえ | ２点 |
|  | | 上が「はい」である場合、50歳までに就農した。 | はい／いいえ | ２点 |
| 目標年までに農業次世代人材投資事業の交付を受けない。 | はい／いいえ | １点 |
| ④農業者の育成 | 今後国内で農業を行う予定の農業研修生を受け入れている。 | | | はい／いいえ | １点 |
|  | 受け入れた研修生が過去５年以内に独立し、認定就農者又は認定農業者となった実績がある。 | | はい／いいえ | １点 |
| ⑤女性の取組 | 次の三つのいずれかに該当する。  ・経営者が女性である。  ・法人の場合、代表者が女性であるか、役員若しくは構成員のうち女性が過半を占めている。  ・法人の場合、女性が事業対象作物の責任者である。 | | | はい／いいえ | ３点 |
| ⑥グローバル産地計画との連携 | 助成対象者又は助成対象者が所属する団体等が策定したグローバル産地計画の承認がされており、導入する施設等がその計画の取組内容に関連している。 | | | はい／いいえ | １点 |
| 先進的～のみ | ⑦他産業との連携 | 経営体自ら生産・加工・販売の一体化を行っている又は目標年度までに行うこととしている。 | | | はい／いいえ | ２点 |
| 異分野の事業者と連携し生産現場のICT・IoT 活用、物流の効率化、外食産業や小売業等との契約栽培等の経営の高度化を行っている又は目標年度までに行うこととしている。 | | | はい／いいえ | ２点 |
| ⑧多様な人材の育成・確保 | 次の二つのいずれかに該当する。  ・多様な人材（障がい者、高齢者等）が就労している。または、多様な人材が就労できる環境整備を行っている。  ・地域産業の理解促進に向け、施設給食（子ども食堂、学校・病院・福祉施設等）への食材提供を行っている。 | | | はい／いいえ | ２点 |
|  | |  | | | 合計点数 | 点 |